

(本件に関する照会先)

日本銀行徳島事務所 088-622-3126

2020年9月10日

日本銀行高松支店

徳島事務所

徳島県金融経済概況

1. 概況

- 徳島県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、弱い動きが続いている。

すなわち、設備投資は増加しているが、先行き、新型コロナウイルス感染症の影響に注意する必要がある。個人消費は、大幅に減少したあと、持ち直しの動きがみられている。住宅投資は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。この間、公共投資は高水準となっている。こうした中、企業の生産は、下げ止まりの動きがみられている。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

2. 実体経済

- 最終需要の動向をみると、以下のとおり。

設備投資は、増加しているが、先行き、新型コロナウイルス感染症の影響に注意する必要がある。

6月短観における設備投資（全産業）をみると、2020年度は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、大幅に減少したあと、持ち直しの動きがみられている。

大型小売店の売上は、振れを伴いつつも、持ち直しの動きがみられている。

乗用車販売は、持ち直しの動きがみられている。

家電販売は、増加している。

主要観光地の入込客数（5～7月）は、大幅に減少したあと、持ち直しの動きがみられた。

住宅投資は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。

公共投資は、高水準となっている。

- 企業の生産は、下げ止まりの動きがみられている。

化学は、振れを伴いつつも、横ばい圏内の動きとなっている。はん用・生産用機械は、低水準ながら、持ち直しの動きがみられている。電気機械、パルプ・紙・紙加工品、輸送機械は、下げ止まっている。食料品、金属製品は、弱めの動きとなっている。

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。
- 消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、小幅のマイナスとなっている。

3. 金融

- 民間金融機関の貸出（7月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。

貸出約定平均金利は、前月比低下した（県内国内銀行ベース、7月末1.210%〈前月末1.213%〉）。

- 預金（7月）は、前月に比べ前年比プラス幅が拡大した。
- 倒産（8月）は、件数は前年と同数となった。負債総額は前年を上回った。信用保証協会の代位弁済（7月）は、前年を下回った。

以 上